

【続報2】世界的な港湾混雑による物流への影響 (ロングビーチ・ロサンゼルス)

新型コロナウイルスの世界的流行により、世界各地の主要港では、港湾の混雑解消の目途が立たない状況が続いております。本号では、2021年5月14日号でお伝えした米国ロサンゼルス港およびロングビーチ港の混雑状況について続報をお伝えします。

1. 米国ロサンゼルス港およびロングビーチ港の状況

昨年来、コロナ渦の巣ごもり消費需要の拡大により輸入貨物が増大しているところに、年明け港湾荷役作業員の中で新型コロナウイルス感染者が急増したため、港湾荷役オペレーションを縮小したことにより、沖合で待機するコンテナ船が更に増加する事態となっていました。

その後、港湾荷役作業員へのワクチン優先接種の働きかけもあり、感染者数減少とともにオペレーションも徐々に改善し、4月には概ねフル稼働状態に戻っております。

- サンペドロエリア(ロサンゼルス港およびロングビーチ港)での2021年4月のコンテナ滞留日数は、前月の3.75日から3.6日とやや改善、2月の4.2日からは大きく改善しました。コンテナが5日以上港に滞留している割合も、3月の14.4%から4月は13.1%と改善しました。
- なお、両港の5月のコンテナ総取扱量は、対前年比58%増の1,919,263TEU。昨年実績が少なかったことも影響し、引き続き対前年比で大幅な増加となっています。

一方、鉄道輸送においては、鉄道ランプでの滞留日数については、2021年1月以降悪化しており、2021年4月は11.2日と、コンテナターミナルでのオペレーション改善に対応しきれておらず、引取・回送に大きな打撃を受けております。



鉄道ランプでの滞留日数

この状況を改善するため、ロングビーチ港では古くは建築資材置き場として利用し昨年10月にオープンした Pier S を、鉄道輸送待ちコンテナの臨時保管場所として提供、6/16時点で約1600本のコンテナが置かれております。他方、ロサンゼルス港もここまで大規模ではないものの、同様の臨時保管場所の提供をしております。しばらく鉄道ランプの混雑は続くことが見込まれています。

上記情報につきましては、あくまで現時点での状況をご報告するものです。最新情報を常にご確認いただきたく、どうぞよろしくお願い致します。



【出展】日刊サン電子版 6/13号

ロサンゼルス港 Port Optimizer <http://volumes.portoptimizer.com>

太平洋商船協会 PMSA <https://www.pmsaship.com>

JOC <https://www.joc.com>



マリントピックス バックナンバー

本 Topics に関するお問い合わせ、ご意見、ご感想等ございましたら、弊社営業担当までお寄せください。編集にあたっては万全の注意を行っていますが、本 Topics 情報の正確性を保証するものではなく、これにより生じたいかなる損害に対して弊社は一切の責任を負わないものとします。